

神樹の会会報

No. 18

平成元年 7月 20日

発行所：神樹の会

発行人：牧野一夫

本部事務所（六甲作業所内）
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533

六甲作業所、東部生活訓練所
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533

垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675

福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

初心に戻って考えよう

平成元年度の総会が去る六月四日に神戸市勤労センターに於いて行われた。神戸市民生局心身障害福祉室奥田育成課長様をはじめ八名の来賓の方々をお迎えし昭和六十三年度の報告、平成元年度の案を審議、また会員による意見交換の時をもち有意義に終えることができた。

平成元年度重点目標

1. 会員相互の輪を強める
2. 身体障害児(者)の進路保障
 - ① デイサービス施設の増設
 - ② 療養施設の早期実現
3. パザー活動の発展と充実

何をめざし 何をしなければならぬか

親が年老いても安心して預けられる場を！

神樹の会 会長 牧野一夫

総会は、神樹の会が何をめざし何をしなければならぬかを、初心に戻って考えていく機会でもある。障害者の幸せを私たちの手で守っていくことを目的として、本会は作られた。平成元年度を迎え重点目標に向かって気持ちもあらたに、エネルギーを結集して進めていきたいと思う。当面の問題として一、ワークホーム明友デイサービス事業の施設建設のはこび、二、東部でのデイサービス事業の早期実現の希望も聞いている。三、親が年老いても安心して預けられる療養施設を要望していきたい。四、神樹の会事務所の独立に向けて努力していきたいと思う。

地域交流ホームをバックアップ
神戸市民生局心身障害福祉室 育成課長 奥田 拓治

神樹の会が設立以来巾広い事業を展開されていることに感謝している。第五次福祉三か年計画の中で療養施設も考えている。明友の地域交流ホームが検討されているが、これもバックアップしていく。デイサービス事業は、まず受け皿づくり、次に中味の充実にと努力していきたい。特に東部については場所を検討中である。行政だけで福祉施策を進めていくことは難しい。会員の皆様のご助力をいただき進めたい。

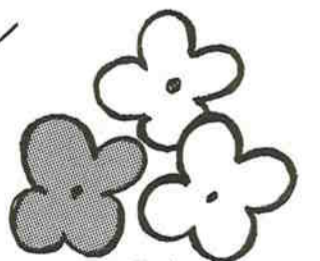
一過性のものではなく
神戸市民生保健委員会 委員長 古田 稔

私が三十年間の教師生活のあり、すべての子供の幸せをどうするか、また障害児については特に進路をいかにすべきかを考えてきた。フェスピックは協力して成功させたいが、一過性のものにするのではなく、これを契機に障害者に対する福祉の充実をさらに進めることが大切である。そして卒業後も、親が安心して将来を託していけるような保障がなされるよう努力したい。

共に生き 共に伸びる

神戸市立垂水養護学校 校長 水野 整一

神樹の会が当初の目的をふまえ、人々の理解を求めながら築き、社会の関心を集められてきたことに敬意を表する。私たちは子供たちが身体に障害があっても、心には障害がない子に育つよう接し、それに携わっていることに誇りをもっている。現在子ども達は交流などを通じて「共に生き、共に伸びる」ことを学んでいる。今後も神樹の会、両校の父兄、教職員の四輪の大きな車で堂々と前進することを望みたい。



新役員紹介

平成元年度の神樹の会役員が次のように決まりました。お世話になった友生養護学校の増田校長が退職され、高内新校長に顧問としてご指導いただくことになりました。

「自立は自律」

友生養護学校校長 高内 恒夫

「神樹の会」この会の名前を始めて耳にしたのは今から十四年前、垂水体育館に在職中、牧野会長（当時校長）から翌年隣接地に養護学校が建設されるので、身障者も活用できる体育館の運営について要望がなされたときであった。会長が会報で、自主と連帯について、精神的自立を訴えておられる。自立は自律につながる。厳しさの中にもあたたかみのある学校づくりをと念願している。

- | | | |
|------------|-------|------------|
| 顧問 | 高内恒夫 | 水野整一 |
| 相談役 | 足立梅雄 | 池田稔 長谷川隼彦 |
| | 増田龍昭 | 安原実 岡本茂 岡実 |
| | 吉田耕二 | 望月秀雄 堀川静子 |
| 会長 | 牧野一夫 | |
| 副会長 | 谷 良子 | 宮脇テル子 池田恵子 |
| | 西原孚左子 | |
| 会計 | 小野治子 | 大川民子 水谷崇子 |
| | 浜野明子 | 中野祀子 |
| 監査 | 石黒良康 | 椎野康子 土居美千代 |
| 書記 | 森山チエ子 | 柏原康子 山崎以左子 |
| | 山内妙子 | |
| 庶務 | 大橋敬子 | 前川登美子 |
| 幹事 | | |
| OB | 牛村和子 | 室之園里子 佐伯幸子 |
| | 中元千鶴子 | 米沢登美子 中島悦子 |
| | 大前順子 | 岸本よしの 鹿間房子 |
| | 東島ミツ子 | 大橋一慧 福森ミチ子 |
| | 西山静代 | 浅原順子 鷲岡了子 |
| | 肥塚一代 | 塚本節子 中谷昭代 |
| 友生 | 泉山克子 | 熊谷充恵 |
| | 山崎以左子 | 安井紀美代 |
| | 多々納利江 | |
| 垂水 | 浜本九美 | 米田 達 |
| | 黒田素美子 | 梅谷雅子 北村千尋 |
| 六甲作業所所長 | | 金沢葉子 |
| 垂水作業所所長 | | 武縄喜代一 |
| 東部生活訓練部部長 | | 出口恵美子 |
| 福祉の店いたやど | | 高木恵子 下山吉子 |
| 垂水デイサービス事業 | | 鮫島ミツエ |

総会の時に会員による意見交換が行われた。短時間だったがいろいろな意見が活発に出された。涙ながらに心の中の思いを切々と話されているのを聞き、障害児(者)と共に生きる家族の本音の姿を垣間みることが出来たと同時に今後ともこのような場をもっていかなばと強く思われた。

介護施設と子育ては？

A. 進路にかかわって四年目、H君が高三の時の担任でした。福祉はいわれているが養護学校の卒業生に就いてはおいてきぼりにされているように思う。H君のことも福祉行政が進んでおれば、デイサービスも親が付き添わなくて通えるような状態になっておれば、親が世話が出来なくなつたときに入れる療護施設が完備していれば、と思ひ残念です。一生介護を必要とする子どもをどうするか、今後行政関係機関に訴えていきたい。お父さんの減刑のために嘆願書を皆さんにお願いしたい。

生きていく間が青春



東島 正也
「青春時代は 終わった。悔いはない」と、人は皆言っているけれど僕はそう思いません。悔いは 必ず あるはず。高校時代の 憧れの先生が 教えてくれたことだけ、人間は生きていく間が青春だ」と。
十代や二十代だけが青春ではありません。僕はその教えに従い いつまでも 年がいくつになつても 青春を味わえる 人生を送りたい。

東島正也さん(垂水養護卒)の作詞は、三十作をこえるが、NHK神戸FMのウインターナイト「夕べのひととき」で朗読されたり、その作品の一つである「祭だ!ワッショイ」は河島英五により作曲されラジオ大阪で歌われるなど多才な作詞が多方面より注目を浴びている。

論議のよう

B. 今年の重点目標にも会員相互の輪を強めるということがでていたのでよい機会だからそれを考えていってはどうでしょうか。

C. 今いちばんつらい気持ちでいるのがお父さんであり、いちばん残念な気持ちで逝つたのがH君ではないかと考えます。H君が最も愛するお父さんの行為をどう受けとめていたのだろうか。二度とこんなことがあつては

ひとりひとりに大切な

ならない。ひとりひとりを大切にしていけることが、障害児教育の原点であるという事は、ひとりひとりの命を大切にしていける、ということではないか。これをお父さんの時何とてよいか、それが今の悩みです。どうしてそこまでいってしまったのか、私たち一人一人が考えていくことでもある。

親の責め

D. 息子は施設に入ったが身体を悪くして退園し在宅中である。障害者だからといって甘やかさないでほしい。甘やかしては自立が出来ない。子供が一人になったとき、どのように生活できるのか心配である。結婚となるとと難しい。兄弟がみればよいというが、兄にも生活がある。H君のお父さんは、年配になってくると、身体は悪いという状態のこと、父親は父親としての考えがあるから気持は良くわかるので私は親を責めることは出来ない。

心を用いて話せる場を

E. H君のお母さんは、今まで一生懸命に、H君を育ててこられました。始めは残念でくやしくて腹が立って父親を許せないといっておられました。お父さんといっしょにがんばってきたからここまでこれたことに気がつき「いつも子供の将来に不安を抱えてきた自分にも半分責任がある。これからの生活は、子供がいた時以上に苦しく辛いものになるでしょうが、父親と共にその苦しさ辛さを背負っていききたい。」と言っておられました。どうかお母さんの気持ちをくんでいただきたい。

F. 私今まで何回もこのようなことを考えたことがありました。親戚などが

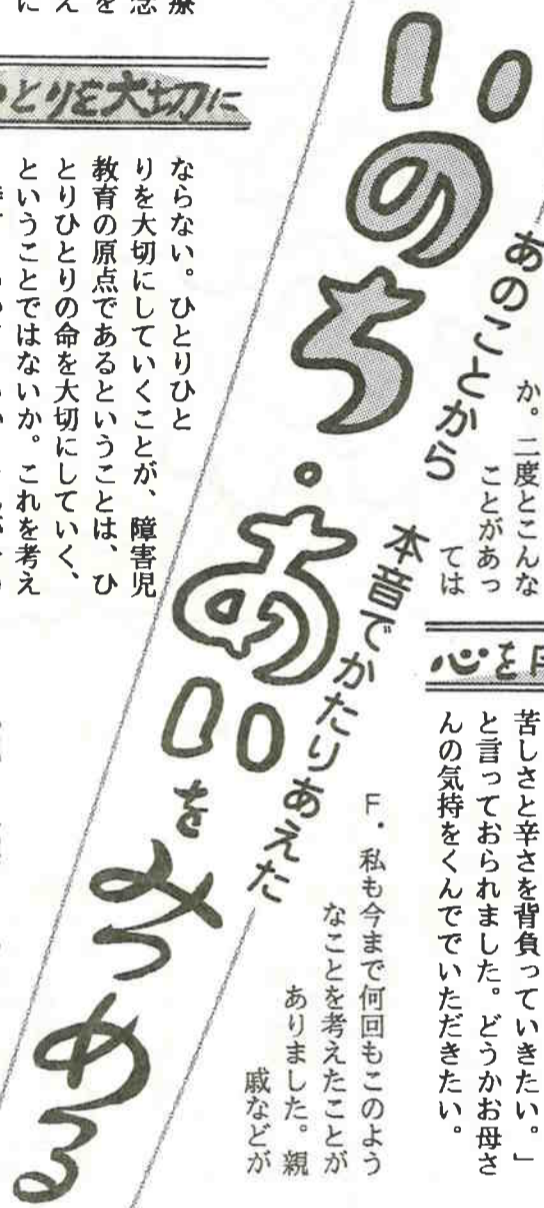
心配して電話をくれたりしたことがありました。卒業して何年もたつと神樹の会なども疎遠になるので、親たちが話し合う機会を年に何回かもって欲しい。

子どもの立場は？

G. お父さんの気持はよく分かるが、一方子どもの人権はどうなるのか。子供の命を親の勝手にしてよいものか。親の都合で子供の命を断つてしまつてよいものだろうか。親の立場だけで嘆願書を書いてよいものか悩んでいる。子供の命、子供の立場を考えてやらなければいけないのではないか。

お父さんの立場は？

H. 今子育てに一生懸命の私ですが、もしお父さんの立場だったら...と考えると嘆願することをお父さんははたして喜んでおられるでしょうか。法の裁きに身をゆだねる方が返つてご自分にとっては救われるのではないかと思つたりします



このゆびと〜まれ



垂水養護所にお世話になつてから

前川 登美子

月日の経つのは早いもので垂水養護所にお世話になつてから一年あまりが経ちました。最初の四か月ほどは自動車学校との両立で大変でした。でも苦勞の甲斐があつて、子供が夢にまで見た普通免許を手に入れることが出来ました。本人は車に乗りたが一心でしたが、私たち親としては障害をもつ子供がどこまでやれるかその力をためしてみたかったのです。いまでは、お父さんに助手席に乗ってもらい日曜日のドライブを楽しんでいます。

また、作業所での仕事にもなれ毎日楽しく過ごしています。そして月末の給料日がいちばんうれしい日です。健常者の十分の一にもみだない給料ですが、その何倍にも価値のあるお金のようには確信しています。妹に五百円をこづかいにあげたあとは自分で計画して預金や小遣いにしていく予定です。その時の顔は、満足感にあふれているように見えます。そして障害をもつ子供にとってお金をいただく大変さも身にしみてわかりました。又今、子供が働くことに生き甲斐をもち作業員皆で力をあわせ働いている姿を見て親として命あるかぎり、この子のためにがんばろうと思つています。そして一人の力は微力ですが皆で力を出し合い、いつまでも明るく働け過ごせる場にしてやりたい。一日一日を大切に明日に希望をもつて子どもと共に頑張りたいと思います。(母親)

人間として認めてほしい

J. 私もこのようなことを一回や二回考へたことがある。親がいろいろ考へたり、追い込まれた気持をもたないで、今一生懸命に子供を育てることを考へていけばよいのではないのでしょうか。子供には子供の人生があるのだから、子供を深く人間として認めていかななくてはならないと思ひます。

カウンセラーの立場から

K. 十八回を数える総会の中で心の底から聞きたいという気持で総会に出席出来たのははじめてです。これからも率直に話し合っていくという会にしていきたい。いかに人生を生きていくか、子どもを育てていくかということ考へさせられた。子どものために一生懸命にやる、子どもには子どもの人生があると思へられるのは、ひとつのゆとりではないか。ゆとりというものがなかつたら、息をつくことができないのでは。嘆願の件は、それぞれの気持で行動をとつていかれてよいと思ひます。ゆつたりとした気持でいかれてはどうでしょうか。

リフト付きバスをありがとう



ピカピカのバス発車オーライ

明友デイサービス事業 中谷 昭代(母親)

五月晴れの風に乗って神樹の会より寄贈されたリフト付きバスが明友デイサービスにやってきました。車いすと座席が二つずつの小さなバスですが、北区、東灘区、長田区、垂水区と文字通り東奔西走して私たちが毎日快適に送迎してくれています。ありがとうございます。

あとかき 今号も皆様のご協力によりよい紙面ができて上がりうれしく思います。今後ともよりよき会報をお送り出来まますよう皆様のご支援をお願いします。(椎野 黒田 武繩 宮脇)